

## RSウイルス検査を始めました



医療法人  
岡村一心堂病院

よりよい医療を  
地域の人々に

岡山市東区西大寺南 2-1-7  
Tel 086-942-9900  
URL : <http://www.issshin.or.jp/>  
E-mail : [info@issshin.or.jp](mailto:info@issshin.or.jp)

## RSウイルス検査を始めました

### 検体検査室

岡山県のみならず全国的に大流行している「RSウイルス」は最近のテレビやニュースで良く耳にする名前と思います。

このウイルスの感染の有無を判定する迅速診断キットはすでに販売されていましたが、保険診療として認められていた検査の対象者が入院中の患者さんのみでした。

しかし、このたびの大流行を受けて、10月17日付で、**保険診療で 1歳未満の乳児（外来診療）まで検査できるようになりました。**

当院でも外来診療での検査を開始しました。（自費での検査を御希望の時は混合診療が禁止されていますので再診時になります。）

### 【RSウイルスとは？】

RSウイルスは、麻疹（はしか）やムンプス（おたふくかぜ）の原因ウイルスと同じ仲間  
に分類され、**呼吸器感染症の原因**となるウイルスの一種です。



### 【RSウイルスの流行時期は？】

日本では主に冬季に流行します。通常は10月頃より流行が始まり、春先まで続きます。  
ところが、岡山県では全国に先がけて7月下旬から患者が増加し始めました。

### 【RSウイルス感染の症状、経過は？】

RSウイルスに感染すると、2～5日の潜伏期を経て、発熱・鼻水・咳などの上気道症状で発症し、  
およそ1～2週間で軽快します。しかし、2歳以下の乳幼児は上気道炎から下気道炎に進展し、細  
気管支炎や肺炎になるケースもあり、特に6ヶ月以下の乳児や呼吸器や循環器に  
基礎疾患を有する小児では呼吸困難など重症化しやすく、入院が必要となるケー  
スも珍しくないため**注意が必要**です。「普通の風邪より症状が重いな」と思ったら、  
RSウイルス感染を疑って早めにかかりつけ医を受診してください。



### 【RSウイルスの感染経路は？】

RSウイルスは感染者の咳やくしゃみを吸い込んだり、鼻水に触れることで感染を拡大していきま  
す。母親がもっている抗体（免疫）の移行だけでは感染防御が不十分なため、6ヶ月未満の乳児も  
感染してしまいます。大人になるとRSウイルスに感染して発症しても症状が軽いため、単なる「カ  
ゼ」として扱われ、家庭内で乳幼児に移してしまうことがありますので**注意が必要**です。

### 【診断は？】

鼻汁を材料に迅速診断キットで**ウイルス抗原検査（約15分で判定できます）**を行います。

### 【治療や予防は？】

有効な治療法や特効薬はなく、**対症療法**が主流となります。（先天性心疾患など  
ハイリスク患者に対しては「抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体製剤」  
が国から承認されています）

ワクチンはまだ実用化されていません。RSウイルスは石けんや消毒薬で  
容易に感染力を失いますので、**手洗いをしっかりおこない、マスク着用  
などでの予防が大切**です。

